

2019年4月1日

関係各位

千代田化工建設株式会社

2020年3月期 期首メッセージ要約
「千代田グループの未来を築く1年に」
(実施:4月1日、社長:山東 理二)

2018年度は非常に厳しい年になった。2019年度は遂行中案件を計画通りに完遂することを最優先とする。一方、関係先と協議を進め、再生計画は出来上がりつつある。今日はその中で3点述べる。

第一は、リスクマネジメント力の強化である。戦略・リスク統合本部を設置し、受注前からのプロジェクトリスクマネジメントに加え、経営補佐機能も兼ね備えた組織とする。また、この本部と連携する形で各事業本部の事業管理機能を強化するためのミドルオフィスを設置し、一次的なリスクマネジメントは事業本部長の下で行うという意識を徹底させる。

第二は、人財の育成である。キャリアデベロップメントを重視した要員配置、人事ローテーションを徹底する。また、再生計画の各種打ち手に必要な人財の再配置を行うと共に、当社に不足する部分の政策加速の為に外部人財の登用を進める。

第三は、当社グループの未来の絵姿である。社内では「エンジニアリング＝プラント EPC」あるいは「エンジニアリング＝ハイドロカーボン」という固定観念を持つ社員が未だ多く見受けられる。エンジニアリング会社として当社が持つ、課題発見力、産業・事業構想力、想像力、仕組みの展開力、デジタル技術などからなる「技術の社会実装力」をもっと伸ばすことで、時代の変化を先取りした新しい事業ポートフォリオの組み立てを目指す。既に地球環境プロジェクト事業本部の昨年度の取り組みを通じていくつか新しい成長の芽が生まれつつある。

繰り返すが、今年度はまずは遂行中案件の計画通りの完遂である。但し、それと同時に、現在浮かび上がってきている当社の主要課題に対し抜本的な解決策に着手し、それを踏まえて未来の絵姿を固めていく必要がある。今から正念場が続くが、何とせよやり抜かねばならない。

この件に関するお問い合わせ先: IR・広報・CSR部 塚本 / 横田
電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962
URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>